

山口 恭子 著

# 松花堂昭乗と

# 瀧本流の展開

近世初期、本阿弥光悦、近衛信尹と寛永の三筆と並び称され、寛永文化の一翼を担った松花堂昭乗。その書は瀧本流と呼ばれ、近世の書文化を席卷する一大書流へと成長していった。

昭乗と瀧本流の書について造型的な面のみならず、昭乗の著述した文芸作品、瀧本流の法帖など、文献資料や版本に対する細やかな検討を行うことにより、近世の書道史、出版史、文化史など広範な研究分野に新しい知見を提供する。

▶ A5判・370頁／定価 9,030円(税5%込) ISBN978-4-7842-1559-1 2011年3月刊 好評発売中

○○内容目次○○

## 序章

松花堂昭乗の生涯と芸術／瀧本流／松花堂昭乗研究史／本書の内容

## 第一部 松花堂昭乗の伝と文事

### 第一章 『芳野道の記』善本考

諸本／柿衛文庫本・尊経閣文庫本の位置づけ／『芳野道の記』の最善本／昭乗自筆本の行方／付 柿衛文庫蔵『松花堂昭乗奈良吉野紀行』翻刻

### 第二章 『松花堂画帖』の刊行をめぐる

昭乗の画業と『松花堂画帖』／伝存本の様相／文化刊諸本の関係／近代刊諸本の位置づけ／細合学与斎ならびに出雲寺について

### 第三章 佐川田昌俊『松花堂行状』について

昌俊と昭乗／諸本／『松花堂行状』の内容／高僧説話と昭乗説話／昌俊の描いた昭乗像

## 第二部 瀧本流の流行と展開

—法帖の出版状況を中心に—

### 第一章 瀧本流の流行と展開

近世文学における「瀧本流」／法帖出版にみる瀧本流の展開／宝暦期以降の瀧本流／近世文学の「瀧本流」の意味／付 瀧本流法帖出版年表稿

### 第二章 『本朝名公墨宝』の編纂と受容

『本朝名公墨宝』の構成と編纂者像／石清水八幡宮の書的环境／松花堂昭乗筆跡の人気と特徴／『本朝名公墨宝』と瀧本流／『本朝名公墨宝』の受容の一側面

### 第三章 『本朝名公墨宝』諸版考

版種／目録題下方の印について／表紙文様について／初刻本について／「正保三年仲冬日」本について

### 第四章 『本朝名公墨宝』書誌解題稿

『本朝名公墨宝』書誌解題稿

### 第五章 細合半斎と書肆藤屋弥兵衛

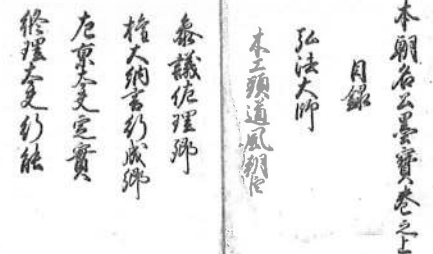
—瀧本流中興の背景—

瀧本流と半斎／近世期における瀧本流の展開／瀧本流出版物をめぐる半斎と藤屋弥兵衛との交渉／半斎と藤屋弥兵衛の交流／瀧本流中興の背景

## 第三部 松花堂昭乗年譜稿

### 松花堂昭乗年譜稿

初出一覧  
あとがき  
索引



『本朝名公墨宝』(上巻)

やまぐち・きょうこ…2005年法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程修了。現在、都留文科大学文学部・埼玉学園大学人間学部非常勤講師、法政大学通信教育部兼任講師。

思文閣出版

〒606-8203 京都市左京区田中関田町2-7 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	松花堂昭乗と瀧本流の展開	本体8,600円(税別)	ISBN978-4-7842-1559-1	
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい)				書店番線印

**三藐院 近衛信尹 残された手紙から**

前田多美子著

書、和歌、連歌など諸道に才能を発揮し、書道は青蓮院流を学び、発展させて近衛流（三藐院流）と称される一派を形成。信尹の生涯を彼の残した手紙から読み解き、隠れた素顔を明らかにし、能書としていかに遇され、その書とはどのようなようであったのかを改めて考えなおす。

▶A5判・270頁／定価2,415円

ISBN4-7842-1299-X

**くずし字辞典**

波多野幸彦監修・東京手紙の会編

天皇・公家・武將・僧侶・茶人・文人・商人などの実用の書である自筆消息（書状）からその筆跡（35,000字）を拾集した画期的な辞典。著者総数400人をこえ、採字した各文字にはその人名を明らかにし、巻末に簡単な略歴を備えた人名索引、部首・総画・音訓の索引を付した。

▶A5判・1452頁／定価6,300円

ISBN4-7842-1024-5

**入門 奈良絵本・絵巻**

石川透著

最新の研究成果をふまえ思文閣美術館において開催された「奈良絵本・絵巻の宇宙展」の展覧会図録。御伽草子から王朝物語、軍記物語、歌集、日記、随筆、幸若舞曲、仮名草子など広範にわたる奈良絵本・絵巻の世界を簡単な解説とカラー写真で紹介する入門ガイドブック。

▶B5判・126頁／定価2,100円

ISBN978-4-7842-1531-7

**※江戸時代の図書流通**

長友千代治著

佛教学大学鷹陵文化叢書⑦

江戸時代には、京・大坂・江戸を中心とした出版文化の隆盛にともなって、広汎な図書流通がみられるようになった。版元・本屋・貸本屋と読者を結ぶさまざまなルート、さらに実用書の出版や宣伝方法など、豊富な図版（130点余）を通して平易に明かす。

▶A4判・324頁／定価2,310円

ISBN4-7842-1119-5

**隔莫記**

[全7巻／本篇6冊・総索引1冊]

本篇：赤松俊秀校訂／総索引：『隔莫記』研究会編

鹿苑寺住持鳳林承章による寛永12(1635)年から寛文8(1668)年までの自筆日記で、近世文化揺籃期の社会相を知る最重要史料を活字化。承章の交際範囲にともない、その内容はきわめて広範で、17世紀中ごろの政治・経済・社会はもとより、文芸や芸能においても必読。

▶A5判・総5130頁／定価73,500円

ISBN4-7842-1311-2

**平成新修古筆資料集**

[全5巻]

田中登編著

編者蒐集の古筆切の中から約120点を図版入りで紹介。一点ごとに切名の由来など簡潔でわかりやすい解説を付し、古筆入門書としても最適。天皇・皇族・摂関・公卿・能書家・歌人・武將・高僧など筆者多数。筆者・切名・書目の索引を併載。

▶A5判・平均260頁／①品切 ②～④各定価2,625円

**橘為仲朝臣集**

定家手沢の伝西行筆歌集の完全複製。西行の筆蹟として尊重されてきた雄品で、藤原俊成の周辺にいた名筆家によって書写されたものと思われる。外題と本文書入は藤原定家の手になり、校訂・研究されたことが窺える。釈文・解説（別冊）は片桐洋一（大阪女子大学名誉教授）

▶特選和紙・FMスクリーン印刷（特色多色刷）・大和綴・屋郎式桐箱定価57,750円

ISBN4-7842-1160-8

**小松茂美 人と学問 古筆学六十年**

田中登編著

被爆体験の病床で『平家納経』と出会い学問に志し、東京国立博物館を経て古筆学研究所を設立、ついには古筆学を大成した小松茂美博士の60年におよぶ学問のあゆみをたどる。【内容】小松古筆学 六十年の軌跡／小松茂美 人と学問／小松茂美履歴・研究業績

▶A5判・256頁／定価2,310円

ISBN4-7842-1120-9

**近衛家熙写手鑑の研究**

村上翠亭・高城竹苞著

陽明文庫蔵・近衛家熙写手鑑（予楽院臨書手鑑・重美）所収の仮名古筆（臨模断簡）100点をとりあげ、全図を原寸大（一部縮小）で収録し、筆者名・古筆名・書誌事項・釈文等各1点ずつについて詳細な考証を加え、原本などの参考図版85点も併載。

▶A4判・280頁／定価12,600円

ISBN4-7842-0968-9

**※書の文化史 書状にみる人と書**

波多野幸彦著

桃山期の手紙を中心に140点余を図版掲載、人と書の表現を考える。

【内容】第一章 筆跡の研究と手紙／第二章 人と書の変遷／第三章 人と書一慈円・藤原定家・足利義尚・三好咲岩・里村紹巴・古田織部・近衛信尹・伊達政宗・沢庵宗彭・烏丸光広・松花堂昭乗 など

▶A5判・322頁／定価3,990円

ISBN4-7842-0948-4

**書道史より見る 禅林の墨蹟**

中島皓象著

墨蹟の中にこそ「書の芸術性」を発見し、自らも墨蹟作家と自負する著者が「墨蹟の見なおし」「墨蹟の新発見」に資すべく墨蹟僧ごとにその書風の源流を探り、その歴史・歴参・参問・嗣席等を明らかにする。【内容】墨聖大燈国師の美学／大燈以後の古墨蹟／墨蹟と茶道 他

▶A5判・268頁／定価3,045円

ISBN4-7842-0627-2

**寛永文化のネットワーク『隔莫記』の世界**

冷泉為人監修／岡佳子・岩間香編

『隔莫記』を通して近世文化のルネサンスと呼ばれる寛永文化の華やかな展開を重層的にとりあげる。「ひと・つどう」「あそびと場」「もの・かたる」の3つテーマに各10篇ずつ収録。カラー24頁のほか挿図多数。

▶B5判変・340頁／定価3,990円

ISBN4-7842-0945-X

**隔莫記 総索引**

『隔莫記』研究会編

『隔莫記』全6巻の膨大な情報を索引として刊行。人名(8000)・事項(8800)・社寺名(550)・地名(500)に分けて編集。人名索引は別称・異称・官位官職・寺院名・姻戚・師弟関係・居住地や鳳林・校注者の誤り等を併記。事項索引には陶磁器・園芸・建築・書画などの諸分野の項目を収録。

▶A5判・760頁／定価14,700円

ISBN4-7842-1312-0

**古筆切研究 第一集**

小林強・高城弘一著

著者・村上列氏蒐集の古筆切から厳選50点を紹介。解題・翻刻のほか関連資料などについても言及。一点ごとに詳細な解説を加える。図版多数収録。【内容】勅撰集／私家集／私撰集／和漢朗詠集／新撰朗詠集／連歌・連歌論書／物語・物語注釈書／仏書・経切 など

▶A5判・280頁／定価2,940円

ISBN4-7842-1040-7

**平安時代書道史**

春名好重著

飛鳥時代、律令政治を背景に隆盛したわが国の書は平安時代に入るとますます盛んになり、文化の発達とともに発展を遂げ、頂点に達した。本書は日本書道史上で最も重要な平安時代の書の推移と特色を明らかにするものである。カラー図版4点、モノクロ挿入図版29点を収録。

▶A5判・300頁／定価3,873円

ISBN4-7842-0759-7

**古今和歌集への道 国文学研究七十七年**

久曾神昇著

『古今和歌集成立論』を始め、古今集研究史上不滅の金字塔を打ち立てた久曾神昇博士の回想録。95歳を迎えて現在なおかつ第一線で活躍する博士が戦前・戦中・戦後にわたる研究生生活を古今集・歌合・仮名書状・歌学・三十六人集・古筆学・郷土史など各分野にわたり回顧。

▶A4判・236頁／定価1,995円

ISBN4-7842-1221-3

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。